

第2回議会報告会 主な質疑

	参加者からの質疑	議会からの回答	対応結果・対応方針
1	<p>○自動車運送事業(市営バス)について</p> <p>支出超過となっているようだが、対策案などの考えは。(尻内地区・男性)</p>	<p>26年度については、特別損失が発生したことで支出超過となった。</p> <p>バス利用者が年々減少し経営が厳しい中、高齢者や交通弱者のためにも市営バスを存続させなければならないという思いで頑張っている。</p>	<p>市執行部へ情報提供を行いました</p> <p>(平成28年4月26日)</p>
2	<p>○議案及び請願・陳情の審査方法について</p> <p>委員会で陳情の趣旨説明を行った際に会議を傍聴したが、ほとんど質疑がなかった。もっと市民目線に立った審査ができないか。</p> <p>(吹上地区・男性)</p>	<p>審査に当たっては、議案等に関する資料を事前にもらい、精査した上で委員会に臨んで質疑をしている。</p>	<p>意見として承ります</p>
3	<p>○視覚障がい者等が議員になった場合の対応について</p> <p>議員活動ができるようにするための環境整備についての検討は。(類家地区・男性)</p>	<p>現時点で検討はしていないが、もしそのような場合は何らかの対応が必要であると考えている。</p>	<p>意見として承ります</p>

第2回議会報告会 主な質疑

	参加者からの質疑	議会からの回答	対応結果・対応方針
4	<p>○議会改革について</p> <p>市民に開かれた議会というものをどのように捉えているか。(柏崎地区・女性)</p>	<p>開かれた議会を目指し議会改革を進めており、その1つとして議会報告会を開催しているが、その取り組みが市民に伝わっていないのが現状である。</p> <p>参加人数がもっと多くなれば市民に開かれた議会が認知されてきたと感じると思うので、さらに回数を重ねていきたい。</p>	<p>他都市の議会報告会開催事例の調査を行います</p>
5	<p>○議員報酬について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員報酬を削減したことは良いことだが、県内でも高いほうだと思う。このことについてどのように捉えているか。(柏崎地区・女性) ・議員報酬は、安いと思う。(下長地区・男性) 	<p>類似都市や職員の給与等も参考にしながら、平成16年と平成25年にそれぞれ2%、計4%の削減を行った。</p>	<p>意見として承ります</p>
6	<p>○福祉政策について</p> <p>福祉の向上に向けた具体的な取り組みは。 (下長地区・男性)</p>	<p>住んでいる地域で医療や介護などのサービスを一元的に受けることができる、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいる。</p>	<p>市執行部へ情報提供を行いました (平成28年4月26日)</p>

第2回議会報告会 主な質疑

	参加者からの質疑	議会からの回答	対応結果・対応方針
7	<p>○正規・非正規職員の人数等について</p> <p>以下の事項について伺いたい。</p> <p>①正規・非正規職員の人数及び割合の推移</p> <p>②正規・非正規職員の格差</p> <p>③今後の採用及び非正規職員が増えてきていることへの考え（新井田地区・男性）</p>	<p>担当部署に確認して後日回答する。</p> <p>→ 回答は別紙「主な質疑 No 7 への回答」とおり</p>	<p>市執行部へ情報提供を行いました</p> <p>（平成 28 年 4 月 26 日）</p>
8	<p>○教育費の無償化について</p> <p>人口減少対策の1つとして、大学までの教育費の無償化ができればよいと考えるが、八戸市における取り組みは。（下長地区・男性）</p>	<p>これまでの制度に加え、大学等に進学する方を対象とした給付型の奨学金制度を今年度創設したところであり、今後このような仕組みを拡大していきたいと考えている。</p>	<p>市執行部へ情報提供を行いました</p> <p>（平成 28 年 4 月 26 日）</p>
9	<p>○人口減少対策について</p> <p>人口を増やすには結婚して子どもを産むことに尽きる。そのための出会いを設けるしか対策はないのではないか。（地区不明・女性）</p>	<p>本年 10 月に策定した八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略における結婚支援事業の1つとして、出会いの場を設ける「はちのへ縁結びプロジェクト事業」があり、来年度から取り組む予定である。</p>	<p>市執行部へ情報提供を行いました</p> <p>（平成 28 年 4 月 26 日）</p>

第2回議会報告会 主な質疑

	参加者からの質疑	議会からの回答	対応結果・対応方針
10	<p>○タブレット端末について</p> <p>紙の使用量削減になるとのことだが、タブレット端末だけでは確認できず印刷枚数が増えることから、逆に紙の使用量が増えることはないか。(大館地区・男性)</p>	<p>これまでは、予算特別委員会や決算特別委員会などの各種会議において大量の資料が配付されていたが、タブレット端末を利用することで集約され、年間約16万枚の紙の使用量削減ができる見込みである。</p>	<p>意見として承ります</p>